

岡崎和郎 個展 『HISASHI』展 について



HISASHI 1998 bronze 2.5 x 25.0 x 4.0 cm 撮影：山本紉 ©岡崎和郎

この度、ozasakyoto では、岡崎和郎 個展「HISASHI」展を開催致します。

この度の展覧会は岡崎和郎が60年代より「御物補遺」という独自の概念による一貫した制作活動と並行して、1977年頃より現在まで制作を続けている「HISASHI」シリーズに焦点を当てたものです。

またこの度の個展は作家にとって京都では10年ぶりの個展となり、「HISASHI」シリーズのみの展示としてましては「岡崎和郎 HISASHI 2001」(横田茂ギャラリー/東京)での展示から16年ぶりとなります。

【HISASHI—補遺するもの】

展示室「月」—補遺の庭 休息のために HISASHI とベンチが与えられたとせよ

HISASHIは庇から着想を得ている。それは、私が本格的に制作活動を開始して以来考えてきた「補遺」という概念を的確に表わしているものである。「補遺」とは部分を通して全体を見通すための概念を含んでいる。自然界にも庇のように生物が強烈な日差しや風雨をしのぎ、休息できる岩陰や木陰のような空間が存在する。HISASHIが庇と異なり有機的な形態を含んでいるのは、生物が生息しているこうした空間を取り込むことによって、人工と自然双方を合わせ持つ全体を暗示しようとしたためである。月の部屋は、HISASHIの「補遺」という概念を強く際立たせた空間である。それは、円の一部である三日月型の鞘のような空間に、HISASHIとベンチが収められた「補遺の庭」なのである。

岡崎和郎

NAGI MUSEUM OF CONTEMPORARY ART 1994発刊 より抜粋

「HISASHI」っていうのは影の物体なんです。説明が難しいんだけど、庇は人間よりも上にありますよね。太陽が上がって、それで影をつくれますでしょ。だから、最も影であるものは何かを考えていたわけ。そしたら庇だった。それは天と地をつなぐものでもある。しかも、実際の庇をつくったんじゃダメなんで、石膏なんかをどろっと流して、デカルコマニーと一緒に偶然を利用している。それを内的な「HISASHI」と言ってるわけよ。

岡崎和郎

「対談：岡崎和郎 x 平芳幸浩 オブジェをめぐる」 REALKYOTO より抜粋

【展覧会名】

岡崎和郎「HISASHI」展

【会期】

2017年11月3日(金・祝)～12月2日(土) 11:00 - 18:00

【会場】

ozasakyoto

京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館207(堀川今出川南西 西陣織会館 西館)

【休廊日】

日・月 休み

【主な展示作品】

- HISASHI 1998 bronze 2.5 x 25.0 x 4.0 cm
- HISASHI 2006 - 2017 bronze 50.2 x 3.9 x 8.0 cm
- HISASHI 1998 - 2017 brass 24.4 x 4.3 x 4.2 cm
- HISASHI 1996 - 2017 bronze 13.7x3.3x5.2 cm
- HISASHI 1998 - 2017 aluminum 21.8 x 1.9 x 4.4 cm
- HISASHI 2006 - 2017 bronze 19.4 x 1.6 x 3.4 cm
- HISASHI 1984 bronze 23.6 x 3.8 x 5.7 cm
- HISASHI 1995 - 2017 bronze 23.0 x 3.2 x 5.3 cm

【協力】

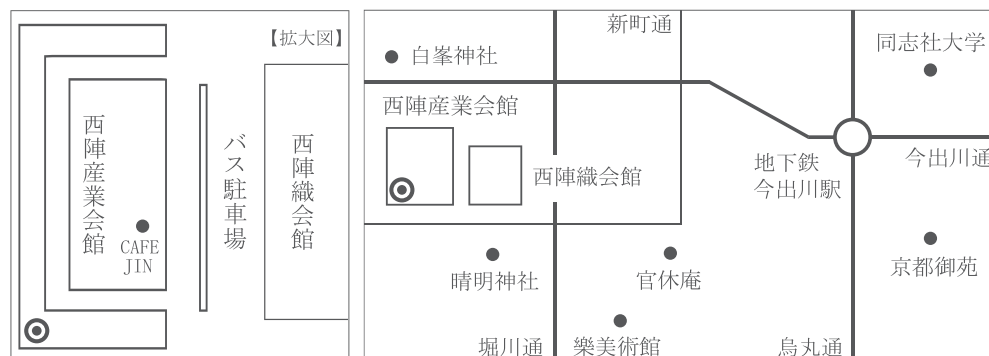
横田茂ギャラリー

【問合わせ】

株式会社 ART OFFICE OZASA  
〒602-8216 京都市上京区堅門前町414 西陣産業会館207  
電話：075-417-4041  
メール：mail@artozasa.com  
HP：www.artozasa.com

【アクセス】

地下鉄烏丸線 今出川駅より徒歩10分



岡崎 和郎

- 1930 岡山市に生まれる  
1955 早稲田大学文学部芸術学専攻美術専修卒業  
1954-56 早稲田大学文学部大学院美術史専攻  
現在 東京に在住

個展

- 2016 「岡崎和郎 心器考」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2015 「岡崎和郎 御物補遺」、GALERIE ASHIYA SCHULE (兵庫)  
「岡崎和郎 ピート・モンドリアンのいま」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2014 「岡崎和郎 絵葉書富嶽三十六景考」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2013 「岡崎和郎 心・棒・考」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2012 「岡崎和郎 物物語考 -虫の知らせ-」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2011 「岡崎和郎—図書館プロジェクト」、世田谷区立玉川台図書館 (東京)  
「岡崎和郎 富士見定規を中心として」、横田茂ギャラリー (東京)  
「岡崎和郎展『一節一葉』」、ギャラリエ・アンドウ (東京)
- 2010 「岡崎和郎展 補遺の庭」、神奈川県立近代美術館 鎌倉  
「岡崎和郎 補遺としての写真」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2009 「岡崎和郎展『黒い雨によせて』—もう1つのヒロシマドーム—」、ギャラリエ・アンドウ (東京)  
「岡崎和郎 林檎—ウィリアム・テルによせて」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2008 「岡崎和郎 “さるのこしかけ”が与えられた時、補遺の庭に立ち現れた三つの知覚像」、  
横田茂ギャラリー(東京)
- 2007 「岡崎和郎」、横田茂ギャラリー (東京)  
「岡崎和郎」、ギャラリエ・アンドウ (東京)
- 2006 「岡崎和郎」、京都精華大学 ギャラリーフロール (京都)  
「岡崎和郎 補遺の庭—HISASHIと水と—」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2005 「岡崎和郎」、ギャラリエ・アンドウ (東京)  
「岡崎和郎 補遺の庭—P.モンドリアンの風景」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2004 「岡崎和郎 補遺としての鏡」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2003 「岡崎和郎」、ギャラリエ・アンドウ (東京)  
「岡崎和郎」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2002 「岡崎和郎 刻まれた雨」、横田茂ギャラリー (東京)  
「岡崎和郎展」、ギャラリエ・アンドウ (東京)
- 2001 「HISASHI 光と陰を割かつもの」、奈義町現代美術館 (岡山)  
「岡崎和郎 贈物」、吉備高原アートハウス (岡山)  
「岡崎和郎 HISASHI 2001」、横田茂ギャラリー (東京)
- 2000 「MULTIPLE PROJECT 岡崎和郎 マルチプル 1963-2000」、横田茂ギャラリー (東京)  
(主催: 東京パブリッシングハウス)  
「岡崎和郎」、ギャラリエ・アンドウ (東京)  
「岡崎和郎 ものの気憶」、横田茂ギャラリー (東京)
- 1999 「補遺の庭 天に」、ヒロ・チカシゲギャラリー (岡山)  
「岡崎和郎 補遺の庭 天に」、横田茂ギャラリー (東京)  
「岡崎和郎」、ギャラリエ・アンドウ (東京)
- 1998 「岡崎和郎 WHO'S WHO」、横田茂ギャラリー (東京)  
「HISASHI + 御物補遺」、コオジオグラギャラリー (名古屋)

- 「HISASHI」、ヒロ・チカシゲギャラリー (岡山)
- 「岡崎和郎 hisashi-その次元考」、横田茂ギャラリー (東京)
- 1997 「岡崎和郎」、天満屋岡山店美術ギャラリー
- 「岡崎和郎」、倉敷市立美術館
- 1996 「岡崎和郎 補遺の庭」、横田茂ギャラリー (東京)
- 1995 「pax 岡崎和郎 黒い雨によせて」、横田茂ギャラリー (東京)
- 1994 「岡崎和郎 hisashi 有機的記憶について」、横田茂ギャラリー (東京)
- 1993 「シリーズ[物補遺]」、ヒロ・チカシゲギャラリー (岡山)
- 「岡崎和郎 hisashi 補遺するもの」、横田茂ギャラリー (東京)
- 1992 「岡崎和郎」、横田茂ギャラリー (東京)
- 1991 「物補遺」、ギャラリー ムカイ (東京)
- 「岡崎和郎」、横田茂ギャラリー (東京)
- 1990 「岡崎和郎 物 補遺」、横田茂ギャラリー (東京)
- 1989 「岡崎和郎 hisashi」、横田茂ギャラリー (東京)
- 1979 「GARASU」、サプリメント・ギャラリー (東京)
- 1978 「HINOMARU」、サプリメント・ギャラリー (東京)
- 「HISASHI」、サプリメント・ギャラリー (東京)
- 1966 「岡崎和郎」、東京画廊 (東京)